



Lock-ON!Mantle

2月4～5日の2日間、JAMSTEC東京事務所においてモホール計画に関するMDPプロポーザル作成検討会を開催した。この会議には、外国人リードプロポーネントとして、Benoit Ildefonse, Damon Teagle, Peter Kelemenの3名を招聘して、日本人プロポーネント約20名とプロポーザルの内容について具体的な議論をした。英語版議事録を別に作成。

出席者：Benoit Ildefonse, Damon Teagle, Peter Kelemen, 海野進, 阿部なつ江, 秋沢紀克, 安間了, 富士原敏也, 羽生毅, 針金由美子, 木村純一, 小平秀一, 熊谷英憲, 道林克禎, 三浦真, 森下知晃, 野坂俊夫, 小原泰彦, 柵山徹也, 佐藤壮, 島伸和, 高澤栄一。

会議の内容について

- 2月中にMDPプロポーザルをBenoit Ildefonseを中心に原案をまとめる。その後、世界中のプロポーネントに閲覧してもらい追加・修正をする。最終調整後、4月1日までにIODP-MIに申請する。
- 申請書について、Benoit Ildefonseによる昨年9月の原稿をたたき台として、金沢ワークショップの合意に基づき修正する。特に日本側が要望していたカーボンサイクルを序論に加えて、海洋地殻の章を簡潔にして、マントルカンラン岩の項目と生命科学の項目を増やすこととする。（部分的に記述不足かもしれません）
- リードプロポーネントについて、日本がリードした国際プロジェクトであることを強調する意味で、国内代表である金沢大学海野教授とIldefonse (France), Teagle (UK), Kelemen (USA)の4名とすることで合意。ただし、Ildefonseが会議後に日本人リードプロポーネントを最低3名にしたいとの申し出があり、メール会議で調整。
- プロポーネントについて、これまでのプロポーネントに加えて、参加表明した研究者を積極的に追加することとした。特に日本人プロポーネントの割合を増やすことを考慮して、本会議に出席された日本人研究者にプロポーネントリストにあがる承諾を得た。現時点で全体の約40%を日本人が占めている。
- その他、今回の会議では微生物学者がほとんどいないことが課題としてあげられた。3月の申請には間に合わないが、今後、微生物学など幅広い分野の研究者に協力を求めていくことが改めて強調された。

現在の状況。2月中旬にBenoit Ildefonseが修正案を作成後、設定した執筆担当者に配布されて本格的な申請書作成が月末まで実施される予定。

文責：道林（2012年2月17日）